

Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報

No. 136 2011. 10. 21.

発行責任者 坂東 貞男

編集責任者 教 宣 部

原発問題を考えよう！

九電「やらせメール」の原点はプルサーマル！？

9月30日、7月に発覚した九州電力の玄海原発再稼働をめぐる「やらせメール」問題を調査していた第三者委員会が最終報告書を提出し、会見を行いました。

それによると、現在玄海原発3号機で行われているプルサーマルに関して、2005年12月25日プルサーマル導入前に行われた討論会の参加者782人中366人が九州電力関係者で、質問者も約40人用意し、仕込み質問を行っていたことが明らかになり、このことが「やらせメール」の原点になったとしています。

つまり、玄海原発3号機で行われているプルサーマルは、九州電力によって作られた「世論」の上で始められたことが明らかになりました。

このような世論を操作しないと出来ないようなプルサーマルは、問題があるからであり、即刻やめるべきであると思います。

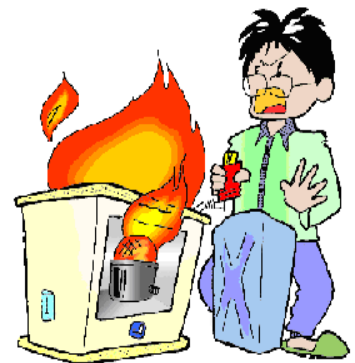
危険なプルサーマルは即刻やめるべき！！

プルサーマルは、「プルトニウム」と「サーマルリアクター（軽水炉）」を合わせて作られた造語です。言葉が表すとおり、史上最悪の物質とも言われるプルトニウムを原子力発電の燃料の一部として発電するものです。従って、ウランを燃料にする原子力発電より危険性が增大すると言われています。

プルサーマルは、通常のウラン燃料で発電する原子炉から出る使用済み核燃料を再処理して抽出したプルトニウムをウラン燃料用に設計された原子炉で燃料の一部として使うというもので大変問題があります。

プルサーマルが危険であると警鐘を鳴らす原子力専門家は、身近なことに例えて「石油ストーブの燃料（灯油）にガソリンを少量混ぜて燃焼させるようなもので大変危険な行為である」と言っています。

このように大変危険なプルサーマルは、玄海原発3号機、伊方原発3号機、高浜原発3号機、そして大事故を起こしてしまった福島第一原発3号機で行われている或いは行われていました。また、全国各地の原発で計画されており、危険なプルサーマルは即刻やめるべきですし、計画も白紙に戻すべきです。



明日の日本のためにも原発問題を考え、行動しましょう！